

※百分率は小数第二位で四捨五入するため、合計が100%にならない場合があります。



# 歩行者の交通事故発生状況

## 令和6年8月末

### 1 歩行者事故の発生状況

令和6年8月末現在の歩行者が死傷した交通事故は、前年と比較して、発生件数、負傷者数ともに増加しています。

なお、死亡事故は8件8人発生し、前年比+3件+1人となっています。

【歩行者事故の発生状況】

(令和6年8月末速報値)

区分	発生件数	死亡事故		負傷者数		
		件数	死者数	重傷	軽傷	計
本年	317	8	8	81	233	314
前年	281	5	7	63	219	282
増減	36	3	1	18	14	32
率	12.8	60.0	14.3	28.6	6.4	11.3

【歩行者の交通死亡事故発生状況】

(令和6年8月末速報値)

No.	発生年月日等							第1当事者		事故類型	死者 高齢者		
	年	月	日	時	曜	昼夜	天候	発生場所	路線			高齢者	車種
1	6	1	2	17	火	夜	晴	角田市梶賀	市道	◎	軽乗	対面通行	◎
2	6	1	6	21	土	夜	曇	仙台市宮城野区榴岡	市道	-	普乗	横断中	◎
3	6	1	30	6	火	夜	晴	仙台市太白区富田	市道	-	普乗	横断中	◎
4	6	2	7	19	金	夜	晴	仙台市若林区遠見塚	市道	-	普乗	路上横臥	-
5	6	3	30	4	土	夜	晴	柴田郡柴田町槻木	県道	-	普乗	その他	◎
6	6	6	27	6	木	昼	晴	仙台市若林区古城	国道	-	大貨	横断中	◎
7	6	8	19	10	月	昼	晴	仙台市青葉区角五郎	市道	◎	普貨	横断中	◎
8	6	8	27	2	火	夜	晴	山元町高瀬字館下	国道	-	普乗	対面通行	◎

### 2 歩行者事故の発生推移 (基礎データ平成26年~令和5年)

平成26年以降、歩行者事故の発生件数は減少傾向にあり、死者数は増減を繰り返しながら、緩やかに減少しました。

令和5年中は、死者数が前年比で大きく減少し、発生件数及び死者数が統計が残る昭和41年以降で最少となりました。

一方で、全人身交通事故が10年間で55.9%減少(平成26年9,142件→令和5年4,033件、-5,109件)しているのに対し、歩行者事故は47.0%の減少(平成26年920件→令和5年488件、-432件)にとどまりました。



区分	26年	27年	28年	29年	30年	元年	2年	3年	4年	5年
発生件数	920	916	888	836	820	692	549	513	505	488
死者数	29	25	26	20	15	19	15	13	18	11
うち高齢者	19	13	12	13	9	10	9	11	10	4
負傷者	908	913	889	832	832	693	553	513	496	489

### 3 過去10年間の歩行中死者の月別発生状況

(平成26年~令和5年)

歩行中の交通事故死者数を月別に見ると、11月及び12月が特に多くなっています。

昼夜別では、冬季には夜間の事故が多発しており、秋から冬にかけては夕暮れ時の事故も多くなりました。

【昼・夜・夕暮れ時の月別歩行中死者数】



※百分率は小数第二位で四捨五入するため、合計が100%にならない場合があります。

#### 4 歩行者事故の発生特徴等 (令和6年8月末速報値)

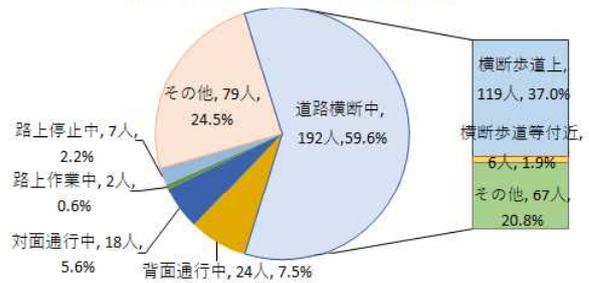
##### (1) 約6割が道路横断中の事故

死傷者の約6割(322人中192人、59.6%)が道路横断中の事故となっています。

内訳は、横断歩道上が119人と最も多く、横断歩道付近や歩道橋付近が6人、その他横断が67人となっています。

横断中に直進車両(一般原付以上)と衝突した事故について、夜間帯に発生した重傷以上の死傷者数は、9割(20人中18人)が左からの車両との衝突となっています。

【歩行者の状態別死傷者】



【横断中事故の車両(前方直進)の進行方向】(人)

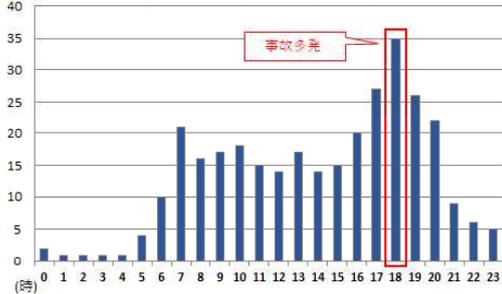
負傷の程度	右からの車両		左からの車両	
	昼	夜	昼	夜
死亡				2
重傷	6	2	9	16
軽傷	16	5	15	11
総計	22	7	24	29

##### (2) 18時台の発生が多い

発生時間別では、18時台に多発(317件中35件、11.0%)しています。

昼夜別では、約4割(317件中136件、42.9%)が夜間に発生し、全事故における夜間の割合(2,394件中565件、23.6%)を19.3ポイント上回っています。

【時間別歩行者事故発生件数】



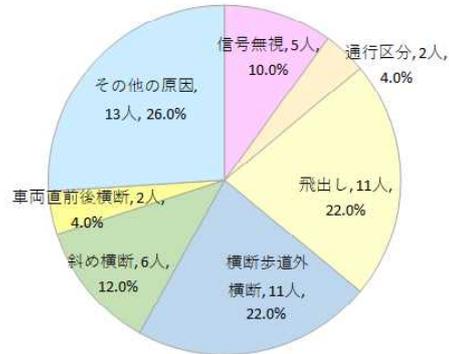
##### (3) 歩行中死傷者の約2割に違反あり

歩行中死傷者の約2割(322人中50人、15.5%)には何らかの違反が認められ、特に飛出しと横断歩道外横断がそれぞれ11人で最多となっています。

違反が認められた歩行中死傷者の42.0%(50人中21人)は重傷以上となっています。

一方、違反がなかった歩行中死傷者では、重傷以上が25.0%(272人中68人)で、違反が認められた歩行者を17.0ポイント下回っています。

【歩行者側の原因】

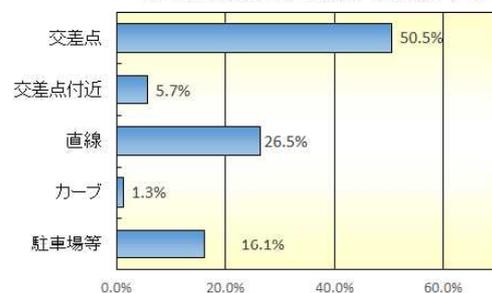


##### (4) 交差点での発生が約5割

道路形状別では、交差点での発生が約5割(317件中160件、50.5%)を占めています。

また、交差点に次いで直線(84件、26.5%)、駐車場等(51件、16.1%)の順に多くなっています。

【道路形状別発生状況(構成率)】



##### (5) 学職別では高齢者が多い

死傷者の年齢別・学職別では、65歳以上の高齢者が多く、死傷者の約3割(322人中82人、25.5%)を占めています。

※学職別は主なものを抜粋

区分	計	年齢別										学職別				
		~14	15~19	20~24	25~29	30代	40代	50代	60代	70代	80~	未就学児	小学生	中学生	高校生	高齢者
死傷者数	322	38	10	27	17	41	44	38	27	45	35	2	27	9	4	82
死者数	8	0	0	0	0	0	0	0	1	3	4	0	0	0	0	7
負傷者数	314	38	10	27	17	41	44	38	26	42	31	2	27	9	4	75